



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第46号

2026年4月14日発行

ホームページ <http://attaka2025.stars.ne.jp/>



あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

2026年度がスタートしました。今年度もよろしくお祈りします。

あったかウェルねっとは2001(平成13)年に設立され、教員、社会福祉協議会職員、ボランティア、障害を持つ人など、様々な立場の会員が職業・立場や地域を超え、埼玉県域での幅広い活動をしてきました。四半世紀が過ぎ、福祉課題はますます複雑化・多様化していますが、今年度も共に学び合い、交流を重ねていきましょう。

お知らせ 総会・研修会

5月16日(土)に2026年度あったかウェルねっと総会および研修会をおこないます。それぞれ申込み先・締切りが異なります。

2026年度ねっと総会

総会日時：2026年5月16日(土)11時開始
 11時00分開会～11時40分議事終了
 11時40分～12時 情報交換等

会場：日本栄養大学 坂戸キャンパス6号館1階
 6103ゼミ室(午後の研修会と異なります。)

対象：正会員・賛助会員及び会員を希望する方

年会費：正会員 1,000円

賛助会員 1口：500円

事前の申込みをお願いします。

ねっと総会の参加申込みはねっと事務局へ。

氏名・連絡先TEL・市町村・所属を明記の上

メールでお知らせください。

申込み締め切り：5月10日(日)

申込先：ねっと事務局(須田)

メールアドレス: attakawelnet@gmail.com

ファクスの場合は049-283-1865(FAX用)へ

～*～*～

総会終了後に、2026年度研修会をおこないます。若者のふくし教育研究会、近隣4市の社協との共催です。

2026年度研修会

あったかウェルねっと、わかふく研、川越市・坂戸市・日高市・鶴ヶ島市社会福祉協議会合同
福祉教育プラットフォーム研修

想いを伝え、ともに生きる

～地域共生社会に向けた意思決定支援の取り組みから～

地域で誰もが自分らしく暮らすために当事者としてどう発信するか、意思決定支援の取り組みを通して、福祉教育の大切さや地域のつながりを学び、「共に生きる」を育むために何ができるかを考えてみませんか。

日時：令和8年5月16日(土)13時20分～16時

会場：日本栄養大学 坂戸キャンパス「文化表現ホール」
 (東武東上線若葉駅東口から徒歩5分)

定員：100名

- ・参加費無料
- ・どなたでも参加可能
- ・手話通訳あり

〈主な内容〉

基調講演①「地域共生社会と当事者参加」

日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏

基調講演②「当事者が活けると社会が変わる。」

～意思決定支援は誰のため～

NPO法人ユートピア若宮 理事長 木本 光宣氏
グループワーク

「自分たちの事をどう伝えるか一緒に考えよう」

日本栄養大学 教授 深田 耕一郎氏

※事前の申込みが必要です。

申込締め切り：5月1日（金）

〈参加方法〉

下記 URL 又は右の QR コード
から申し込みフォームにア
クセスし、必要事項を入力
のうえご送信ください

参加申込み
をお待ちし
ています！



URL：https://forms.gle/teUfkMEhW4ZFjkiR9

Zoomによるオンライン配信のご視聴を希望する方は当日までに各社協から別途 配信に関するご案内のメールをお送りいたします。

お問い合わせは、下記の社会福祉協議会まで。

鶴ヶ島市社会福祉協議会：049-277-3317

坂戸市社会福祉協議会：049-283-1597

川越市社会福祉協議会：049-225-5703

日高市社会福祉協議会：042-985-9100

以下の QR コードで研修会の
チラシ（PDF）を見ることが
出来ます。



どうぞ
お申込みを



報告 養成研修・早春カフェ

2025(令和7)年度あったかウェルねっと 福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修

令和8年2月28日（土）10時～16時、彩の国すこやかプラザ3階多目的実習室にて福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修～「共に生きる力を育む」福祉教育実践を県内に広げよう～を実施しました。

午前の部は、埼玉県社協地域福祉部長 塚原雅代氏による基調講義「地域共生社会の実現に向けた福祉教育の推進」があり、それに続いて埼玉県内の実践報告2例が続きました。

グループしゃぼん玉（川越市）の皆さんによる寸劇を交えて、「老いる」ということの理解や人と人とのつながりの大切さを学びました。

続いて、発達支援サークル『ギフテッド』代表 木元 牧氏（鶴ヶ島市）の「発達障害について考えよう～多様性について～」では、ご自身の体験も含めて発達障害の人達が抱える困難に触れながら、相手の立場になって考えることが多様な人達が住みやすい社会を作るためのはじめの一步！と発表されました。

午後の部では、墨田区立菊川小学校主任教諭（研修会当時）坂本晃一氏による演習と講話で、「自分を知る、他者を知るための福祉教育お役立ち講座」や疑似体験「障害当事者の心理を体験しよう」、そして、グループ演習で動画教材を使った模擬授業「発達障害の特性を考える」等がありました。

受講生は、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、車いすユーザーをはじめ、ボランティア、市町村社協職員等26名。手話通訳者や視覚障害ガイド、車いす介助者も同席しており、人数が膨れ上がって会場は熱気に溢れました。

県域での福祉教育・ボランティア学習推進への実践力向上と実践者の広がりを目指した本研修では、様々な立場の方々とともに実践的な学びを深め合う事ができました。

発達障害の学びから得るもの

午後の部講師：坂本晃一氏
(墨田区立菊川小学校主任教諭)

私は現在（研修会当時）、特別支援教室の巡回指導教員として、発達障害児（ADHD、自閉スペクトラム症、限局性学習症など）の個別指導をしています。通常学級に籍を置きながら、週1回2時間程度、様々な障害を抱えた児童が支援教室を訪れます。学習や日常生活での困り感は一それぞれですが、その子に合った生活の工夫を一緒に考え、試しています。

今回の研修のメインテーマは、周囲から気付かれづらい、見えづらい「発達障害」で、ずっと私があったかウエルねっとの皆さんと学習したいと切望していたものでした。視覚、聴覚、肢体に障害のある受講者は当事者として語られることが多かったと思いますが、この研修では合理的配慮を考える周囲の立場というのが興味深い点でした。

発達特性は誰にでもあり、自分ごととして捉えることから始まる大切さを共有できたのが大きな収穫でした。

参加者アンケートより

- ・発達障害について分かり易く説明があり、体験ワーク等も楽しく参加できました。いろいろな角度からものごとを見る大切さを学びました。
- ・特に発達障害については、研修を受ける機会がなかったので、とても勉強になりました。
- ・推進員たちとの学び、福祉教育の教え方に大変勉強になりました。他の方の教え方、工夫

していること等も知りたいと思いました。

- ・普段なかなか話しをする機会の無い方たちと会い、午前午後に渡り長い時間を共有し、とても有意義な時間が過ごせました。自分の人生に幅が広がったように思います。
- ・とても勉強になりました。志を同じくする仲間に出会えて、パワーをもらえました。



実践報告1：グループシャボン玉による「老いるということの理解～寸劇を通して～」



実践報告2：木元 牧氏による「発達障害について考えよう～多様性について～」

午後の講座では、講話を挟みながらの模擬授業で、どのグループも活発に意見を交わし、学び合った。



まなびばしゃべりばカフェ2026早春
快適な住環境は本人の自立と家族の負担軽減
～車椅子の建築家が願うのは家族の笑顔～

話題提供者：栗林 稔昌氏（川崎市在住）
福祉建築事務所代表
脊髄損傷者友の会

2026年3月15日（日）にZoomによるオンラインで早春カフェをおこないました。

栗林氏は脊髄損傷の車椅子当事者として専

門の住環境整備を始め、車椅子の日常生活の問題点を赤裸々に報告・解説されています。

二級建築士、福祉用具専門相談員、二級福祉住環境コーディネーターとして、単なる家づくりだけでなく、車椅子建築士だからこそできる事・車椅子建築士しかできない事を掲げて住環境整備を提案されています。丁寧な打ち合わせや現場を見つめて複数の提案をするなど、家族の笑顔があふれるような家づくりや住環境についてお話がありました。

当日のカフェ参加者からは、「2階建てに住んでいるが、平屋建てに作り替えるのは無理だ」等、自分事として捉える発言が多数ありました。

栗林氏は栗林福祉建築事務所代表であり、脊髄損傷者友の会代表でもあります。大変なご苦労があったと思いますが、カフェ当日のお声は明るく希望に満ちた様子でした。そして「気軽に相談してください」という心強く嬉しいお言葉をいただきました。

(参加者 13名)

報告：坪井敏衛（ねっと相談役）

推進員の役割を伝えるイメージ図の提案

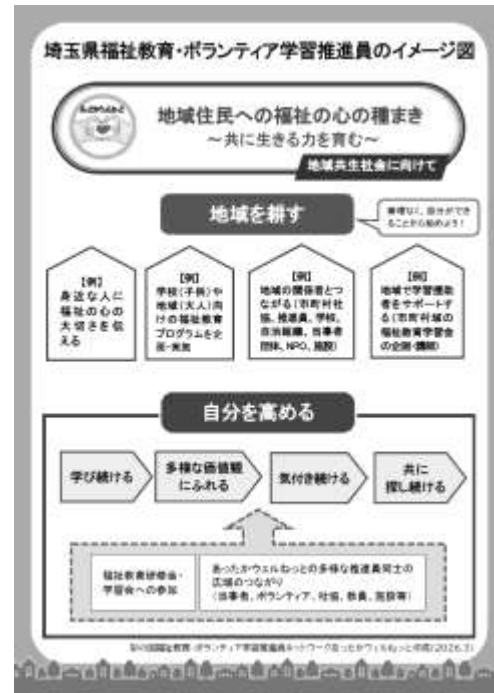
埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員の役割を分かりやすくまとめたイメージ図を作成しました。

タイトルは「地域住民へのふくしの種まき～共に生きる力を育む～」で、「地域を耕す」と「自分を高める」の二つが示されています。

「地域を耕す」では「身近な人に福祉の心の大切さを伝える」をはじめ、4つの例が挙げられていて「無理なく自分ができることから始めよう！」との声かけがあります。

「自分を高める」では、学び続ける→多様な価値観にふれる→気づき続ける→共に探し

続ける、とあり「福祉教育研修会・学習会への参加」や「あったかウェルねっとの多様な推進員同士の広域のつながり」がそれらの元になっている、としています。



PDF版のQRコード↓



「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員のイメージ図」

ご意見募集中 ねっと事務局まで
メールアドレス: attakawelnet@gmail.com
更に分かりやすく、活用しやすくなるよう皆さまからのご意見をお寄せください。みんなで作っていきましょう。

若者のふくし教育研究会コーナー

若者のふくし教育研究会事務局長
小川和広（川越市）

2025年度、若者のふくし教育研究会では、「災害ソーシャルワーク」をテーマに、多くの若者とともに活動を行ってきました。延べ約50名の若者が参加し、高校生を中心に、それぞれが自分なりに考え、行動しながら関わってくれた一年でした。

活動は5月の研修会から始まりました。災害時の支援や被災地の現状について学ぶ中で、「自分たちにもできることがあるのではないか」と考えるようになり、その思いが形になったのが、能登半島地震の復興支援を目的とした「復興支援マーケット」です。市内外の企業や団体の皆様から温かいご支援をいただきながら、若者たち自身が企画し、準備を重ねて実施しました。

当日は、商品の販売だけでなく、写真や資料を使いながら被災地の様子を伝える姿が見られました。最初は緊張していた若者たちも、来場者の方々と話す中で少しずつ表情がほぐれ、自分の言葉で思いを届ける姿がとても印象的でした。こうした取り組みを通して、合計50万円の義援金を石川県共同募金会へお届けすることができました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

また、3月14日に行われた鶴ヶ島市社会福祉協議会主催の報告会では、活動に参加した若者たちが、自分たちの経験や学びを発表しました。壇上で仲間と並び、賞状を手にしたときの少し照れたような笑顔や、会場からの温かい拍手は、これまでの取り組みを象徴するようなひと場面でした。展示コーナーでも、多くの来場者の方々が足を止め、若者たちの話に耳を傾けてくださり、活動の輪が広がっていくのを感じることができました。

その結果、「西入間ライオンズクラブ賞」という大変ありがたい賞をいただくとともに、会場でも温かいドネーションをいただくことができました。こうした一つひとつの出会いや応援が、若者たちにとって大きな力になっています。

今年度は高校生や大学生を中心とした活動でしたが、これからは卒業していく若者たちと、新しく参加する高校生や大学生がつながりながら、さらに広がりのある活動にしてい

きたいと考えています。世代を超えて支え合い、学び合う関係が生まれていくことを大切にしていきます。

これからも若者とともに、一歩ずつ歩みを進めていきます。今後とも、温かく見守っていただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



県社協からの情報

福祉教育推進者研修

本研修では、「総合的な学習の時間に『ふくし』を取り入れる時に役立つコトを伝えます第3弾」として3本の動画配信を予定しています。

この動画では、あったかウエルねっと 中島 満氏より「車いすユーザー中島さんの小学校での実際の授業①、②」として東松山市内の小学校の授業の一部を配信します。

また、あったかウエルねっと・DE T埼玉 上野優一氏より「電動車いすユーザー上野さんがこどもたちへ伝えたいこと」をテーマにお話しいただきます。

配信期間：令和8年4月下旬

～令和9年3月15日（月）

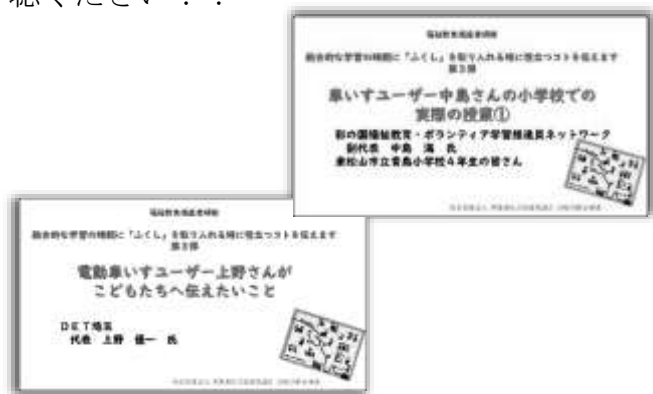
※事情により時期を変更する場合がございます。

最終申込期限：令和9年2月28日（日）

申込み URL：配信開始後に案内します。

中島さん、上野さん、撮影に御協力いただきありがとうございます。皆様、ぜひ御視

聴ください！！



埼玉県地域福祉推進プラットフォーム実施報告

令和7年度は地域福祉推進プラットフォーム支援事業として、複数の社協が福祉教育を推進するためのプラットフォームを設置・運営する支援を開始しました。そして、2月には「埼玉県地域福祉推進プラットフォーム」を実施し、県内各地のプラットフォームの紹介とプラットフォームについて実践報告をいただきました。あったかウエルねっとの皆さま、施設職員、社協職員等多くの参加がありました。(参加者87名)

実施日：令和8年2月19日(木)13:30～16:10
(ZOOMによるオンライン)

テーマ：“ともに生きるふくし”をみんなで
考えよう！～埼玉のつながる場の取
り組みから～

今回は全社協を通じて他県にも周知したところ、「ふだんのくらしのしあわせ」を生んだ埼玉県での事業ということで、他県の社協からも多数の参加がありました。

皆さま、ご協力ありがとうございました。

事務局情報

情報提供のお願い

～各地域の福祉教育情報をお寄せください～
日頃の活動や地域の状況、感じたこと、

福祉課題などの情報をお寄せください。皆さまからの情報をお待ちしています。

ねっと事務局アドレス

attakawelnet@gmail.com

会費振込先のお知らせ

ねっと活動は会員の会費で運営しています。(年1000円、賛助会員一口500円)

原則として口座振り込みとなりました。振込手数料についてはご負担をお願いしております。どうぞご理解のほどお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進ネットワーク

メンバーリストの登録にご協力を

会員及び賛助会員の方にはメンバーリストで情報をお届けしています。現在郵送で受け取っている方でメールアドレスをお持ちのかたはメールアドレスをお知らせください。メールで受け取っていただくと助かります。

また、メールアドレス変更の場合は事務局までお知らせください。

編集後記

足早に桜の季節が過ぎ、早くも夏を思わせるような暑さの日も。暑さでは日本一になりそうな埼玉、夏本番を前に酷暑や熱暑に負けない工夫をして準備怠りなく！

年度始めの恒例となった、5月の総会&研修会で元気にお会いしましょう。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
ネットワーク(通称：あったかウエルねっと)

編集：あったかウエルねっと(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL：048-822-1435 FAX：048-822-3078

Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp